

巻頭言

『やまぐち学の構築』第九号をお届けする。本プロジェクトの理念・目的は、地元山口県の有する、歴史的・文化的な固有性を解明し、学問的裏付けに基づく「やまぐち学」を構築することである。地域の固有性と全国的・世界的普遍性を、対概念として捉えて探究しようとしている。

本プロジェクトは、発足して九年を経過しようとしている。毎年一冊の本誌は、九号となった。平成二十一年度に、本誌の発行に加えて「やまぐち学シンポジウム」を開催することにし、「萩藩研究の新展開」のテーマで開催した。平成二十二年度には、「考古学から見た山口県の文化交流」、平成二十三年度には、「大内氏と文化振興」のテーマで開催した。

今年度は、十二月十五日に第四回やまぐち学シンポジウムとして「萩藩研究の新展開Ⅱ」というテーマで開催した。田中誠二「幕末期の萩藩財政」・中野美智子「萩藩の大庄屋と宰判宿駅―林家文書再見―」・森下徹「萩藩の武士と役」の三報告をうけ、共通テーマでの討論を行った。山口大学には、三人の近世史研究者がいる。これは地方大学としては希有なことであるので、萩藩研究のメッカたりうると考えて、「萩藩研究の新展開」という共通テーマの第二弾を企画した。今回は、かつて我が大学附属図書館に勤務されていたアーキビストの中野さんに、報告を引き受けていただいた。中野さんには、本誌第七号・八号に寄稿していただいている。シンポジウムは、皆様のお蔭で楽しい会となった。ご参加いただいた各位に感謝したい。

筆者は、本年度三月末をもって定年退職する。本誌のゆくてに幸いのあらんことを。

本プロジェクト構成員

田中誠二	人文学部教授	歴史Ⅱ文献班、日本近世史、班長、プロジェクト代表
橋本義則	人文学部教授	歴史Ⅱ文献班、日本古代史
森下 徹	教育学部教授	歴史Ⅱ文献班、日本近世史
木部和昭	経済学部教授	歴史Ⅱ文献班、日本近世史

真木隆行	人文学部准教授	歴史Ⅱ 文献班、日本中世史、企画編集委員
池田勇太	人文学部講師	歴史Ⅱ 文献班、日本近代史
田中晋作	人文学部教授	歴史Ⅱ 考古班、考古学、古墳時代、班長
村田裕一	人文学部准教授	歴史Ⅱ 考古班、考古学、石器、企画編集委員
田畑直彦	埋文資料館助教	歴史Ⅱ 考古班、考古学、弥生
横山成己	埋文資料館助教	歴史Ⅱ 考古班、考古学、歴史考古学
坪郷英彦	人文学部教授	文芸Ⅱ 民俗班
湯川洋司	人文学部教授	文芸Ⅱ 民俗班
尾崎千佳	人文学部准教授	文芸Ⅱ 民俗班、国文学、俳諧、企画編集委員

二〇一三年二月

プロジェクト代表 田中誠二